

# ステップ4 もくじ

大きな数 ①～⑧	3
およその数 ①～⑥	7
切りすて (①)・切り上げ (②)	7
<small>ししやごにゆう</small> 四捨五入 (③～⑥)	8
1けたでわるわり算 ①～②②	10
筆算のしかた (①)、÷1けた (あまりなし②)	10
÷1けた (あまりあり③・④)	11
÷1けた (商2けた⑤～⑧)	12
÷1けた (商2けた・あまりあり⑨・⑩)	14
3けた÷1けた (商3けた⑪～⑬)	15
3けた÷1けた (商2けた⑭～⑲)	18
式と計算 ①～⑥	21
分数 ①～⑫	24
2けたでわるわり算 ①～⑳	30
あまりなし (①・②)	30
あまりあり (③)、あまりあり・なし (④)	31
3けた÷2けた (⑤～⑧)	32
<small>かしょうしゅうせい</small> 仮商修正1回 (⑨～⑫)	34
仮商修正2回以上 (⑬・⑭)	36
仮商修正あり (⑮・⑯)	37
商2けた (⑰～⑲)	38
商2けた (仮商修正1回⑳～㉔)	40
商2けた (仮商修正2回㉕・㉖)	42
商2けた (仮商修正2回以上㉗～㉚)	43
商が何十 (㉛・㉜)	45
計算の見積もり ①～⑥	46

角の大きさ ①～⑭	49
はかる (③～⑥)	50
計算で求める (⑦・⑧)	52
かく (⑨～⑫)	53
三角じょうぎ (⑬・⑭)	55
面積 ①～⑩	56
広さくらべ (①・②)	56
長方形の面積 (③)・正方形の面積 (④)	57
長さを求める (⑤)	58
m <sup>2</sup> (⑨)・km <sup>2</sup> (⑩)	60
整理のしかた ①～④	61
折れ線グラフ ①～⑥	63
小数のたし算・ひき算 ①～⑥	66
小数のかけ算 ①～⑧	69
小数のわり算 ①～⑫	73
<small>すいちよく</small> 垂直と平行 ①～⑩	79
四角形 ①～⑩	84
立体 ①～⑩	89
ものの位置の表し方 ①・②	94
計算のきまり ①～⑥	95
答え	98

## はじめに

「読み書き」はできるが、「算数はとても苦手」という子がいます。

教科書やプリントに問題がたくさんあるのを見ただけで学習意欲を減退させます。算数の勉強をする以前の問題です。そして、重症の「算数できない子」になってしまいます。それは仕方ないことなのでしょうか？

いや、何か手段があるはずです。それでは、克服させるにはどうしたらよいでしょう。

まず、「できる自分」に出会うことです。やさしい問題を少しやり、「問題ができた」ことを指導者と一緒に確認するのです。

「〇年生だからこれはできないとだめ」という思いがあったら、すぐ捨ててください。

次は、「続ける」ことです。少しでいい。何度も「できる自分」に出会い続ければ、いつの間にか「できる自分」に気付きます。子供自身が「できる自分」に気付かなければなりません。

指導者が「こんなやさしい問題はできて当たり前」と思っていたら、子供は「できる自分」に気付きません。

このプリントを少しずつでいい、励ましながら「やり切る」ようにさせてください。途中で投げ出すことなくこのプリント1冊をやり切ったとき、「算数が苦手でない自分」にきっと気付いていることでしょう。

梶谷 雄三

(学力の基礎をきたえどの子も伸ばす研究会)

## 先生方へ



このプリントは「算数が苦手な支援が必要な」子のために作りました。そのために、基礎は押さえながらも、思いっきりやさしくしています。

集中力が持続しにくい子でもできるように、問題数を少なくして、書くスペースもゆったり取っています。

学校の学年・進度とは関係なくお使いください。

### 【本書全巻の特長】

- この巻では4年生のほぼ全単元を扱っていますが、「4年生」用とは書いていません。  
「下の学年の内容をやっているのは恥」、という誤った思いを抱かせないためです。
- 問題数は少なくしてあります。
- 書くスペースを多く取っています。
- 単元の初めのページに、わかりやすい説明・工夫をしています。
- 問題は、それぞれ型分けして出題しています。
- うすい文字でやり方や解答例を示しています。まずはそれらをなぞらせてください。

### 《この巻の特長》

- 2けたでわる「わり算」は、一度商をたてても、やり直しをしなければいけないときがあります。めんどうですが、ていねいに計算させるようにしましょう。
- 立体の学習は、教科書やプリントでは平面に表したものを使ってやりません。できれば、立体をそばに置いて勉強させてください。